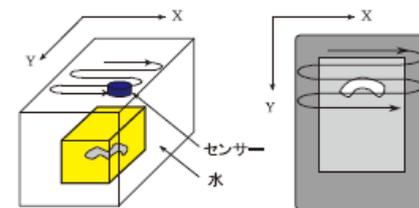


超音波映像装置

従来の超音波映像装置の問題点

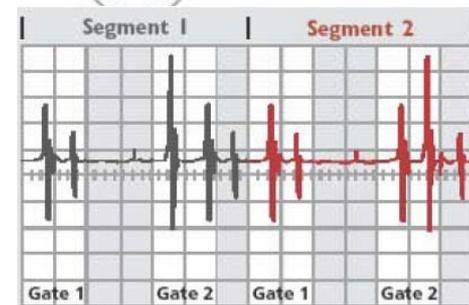
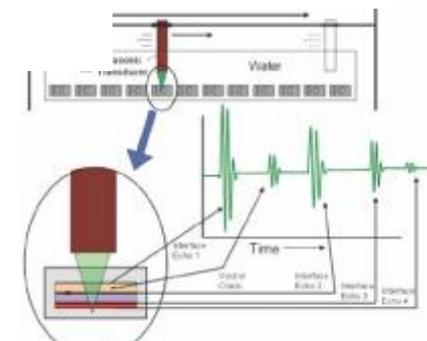
- 判定分解能向上に伴う、センサから信号の高速化のため、入力信号の周波数帯域の広帯域化が必要(500MHz以上)
- 対象のウェハの大型化に伴う、スキャン速度向上、スキャンエリア拡大により、多量データ解析能力の必然性アップ
- A/D周辺回路要求仕様の高度化により、最先端技術の活用へ



超音波映像装置

U5303A/SA120P/SA2xxP

- 超音波センサからの信号を確実に捕捉する
高速デジタイジング性能
 - 最大 8GS/s 高速デジタイジング、帯域1.5~2GHz
- 最大のデータスループット性能
 - 最大6GB/s データ転送スピード
 - オンボードFPGAによるノイズ除去に必要な高速アベレージング機能
 - データを取り込みながら、同時にピーク検出を実行できる高速演算処理
 - 演算転送時間を削減するゲート指定によるデータフィルタ機能
- 省スペース&省消費電力: 装置全体のコンパクトパッケージ化



ゲート指定によるデータフィルタ

【展開できるアプリケーション・市場】

- ✓ ノイズの多いセンサ信号の高速平均化処理